

# 湖南高校だより

校訓  
勉明同  
勤聡協  
実高律  
誠志自

# 生徒主体の地域ライフル

## 「カレーライスを二から作る」着々と

臨時休業により開講が四月四日までずれこんでしまった本校の総合的な探究の時間「地域ミライ探究」でしたが、夏休み前から活動の勢いも増し、バイザーになっていただきました。これまでの遅れを取り戻すべく、各クラスとも意欲的に取り組んでいます。はたして、十二月十日の「調理をして食べる日」まで、カレーライスの食材となる野菜やスパイス・穀物の栽培、お肉や調味料の入手、スプーンや器などの製作が間に合うでしょうか。生徒たちの主体性に期待したいところです。

六月二十五日、第三回目の「地域ミライ探究」では、いよいよ【野菜】【スパイス】【主食】【調味料(お肉)】【その他】の六つの班に分かれての活動が始まりました。「できる(かもしれない)こと」をインターネットや書籍で探り、行き詰まった時には、講師の和田祐樹さんからアドバイスを頂きながら、今後の作業計画を立てていました。



種と苗を植え付けています

七月九日の第四回目では、スマホや書籍で調べ物をする班、地域の方に電話で教えを乞う班、畑となり得る場所を探し求める班、肥料用の生ゴミ処理機を作る班など、各班ごとに作業を進めました。生徒たちは6時間目終了のチャイムを気にすることなく作業や話し合いを続け、その姿に大いに励まされました。以下、夏休みまでの各班の進捗状況についてお知らせいたします。

今回のカレーライスは、当然、スパイスも種から育てるということ、カレーらしい香りを求めてコリアンダーとクミンを、そしてカレーらしい辛さを求めて唐辛子を栽培することに決定しました。七月二十八日、湖南町の赤津地区で農業を営む小山さんにアドバイスをお願いし、種蒔きを決定しました。また、唐辛子の苗は、湖南四季の里直売所の方からご提供いただきました。感謝、感謝です。順調であれば、二〜三カ月で収穫できるようです。夏休み期間は、スパイス班の生徒たちが自宅にプランターを持ち帰り、各自で毎日お世話

カレーライスのお肉と野菜を茹でています。お肉班、牛肉？豚肉？鶏肉？いよいよ「ウチダオリ〇ニ」です。元々、食用のために輸入され、最近ではその繁殖を抑えるために注目を集めるようになってきたとのこと。調理までの日数が限られる中、お肉の飼育を断念し、捕獲の道を選びました。環境NPOの方々の協力も得て、七月三十日、三十一日の二日間、裏磐梯にて二百匹近くをゲツトしてきました。

「カレーライス」全体のマネジメントを行うのが【その他班】。来年度の為の肥料をこしらえる為の生ゴミ処理機「キエロー」を製作したり、リベロとして人手が足りない班の手助けをしたりと大活躍。お肉茹での作業では、雨が降る駐輪場の屋根の下に自作のかまどを作り、苦勞しながら火を起こしてくれました。

「カレーライス」なのに「そば？」。稲の植付時期もとうに過ぎた六月下旬、前出の小山さんに雑穀栽培についてアドバイスをお願い、【主食班】は収穫成功率を重視し「そば」を栽培することにしました。つまり「カレーそば」にするということですが、そこで、福良地区で農業を営む阿部さん宅に直訴し、指南役となっていたら、七月十七日と八月六日の二回に種を蒔きました。

七月二十七日、全校生の「蕎麦プロジェクト」【種蒔き】の「会津のかおり」は、学校運営協議会委員・そば栽培中野生産組合代表の桑名秀一郎さんと福良地区の認定農業

者阿部敏満さんから種蒔き方についての説明があり、その後、生徒・教職員・地域の方々が一列になつて、一粒一粒、丁寧に種を蒔きました。帰校後は、学校運営協議会副会長の満田仁一さんから「コミュニティ・スクール事業としての『蕎麦プロジェクト』」について、桑名さんから「そば栽培の魅力と農事暦」についてお話ししていただきました。

**KONAN**

学校HPも常に更新しています。湖南高校までの下記のリンク先からQRコードをダウンロードしてください。

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の『湖南町のロゴを勝手につくっちゃおう』企画で選ばれた作品です。今後、湖南町の諸機関と共有し、町の振興に活用していきたいと考えています。ご賛同頂ける方は、どうぞ湖南高校までご連絡下さい。

カレーライスのお肉と野菜を茹でています。お肉班、牛肉？豚肉？鶏肉？いよいよ「ウチダオリ〇ニ」です。元々、食用のために輸入され、最近ではその繁殖を抑えるために注目を集めるようになってきたとのこと。調理までの日数が限られる中、お肉の飼育を断念し、捕獲の道を選びました。環境NPOの方々の協力も得て、七月三十日、三十一日の二日間、裏磐梯にて二百匹近くをゲツトしてきました。

「カレーライス」全体のマネジメントを行うのが【その他班】。来年度の為の肥料をこしらえる為の生ゴミ処理機「キエロー」を製作したり、リベロとして人手が足りない班の手助けをしたりと大活躍。お肉茹での作業では、雨が降る駐輪場の屋根の下に自作のかまどを作り、苦勞しながら火を起こしてくれました。

七月二十二日、地域の伝承会のご協力の下、一年生が湖南町の文化や歴史を学ぶ行事「ぐるっと湖南」に参加しました。伝承会の渡部紀衛さんから布引高原や隠津島神社

等の名所旧跡の説明を受け、西田忍さんからは湖南に伝わる民話を聞かせていただきました。生徒たちは、「昔の湖南の話」を聞いて面白かった。「知らないことが沢山あるのでもっと湖南になじんでいきたい」などと感想

を書いています。東北最大の坐像がある東光寺中地大仏の説明を聞く1年生

中学生にタブレットを利用し説明する本校生

### スパイス班

カレーライスのお肉と野菜を茹でています。お肉班、牛肉？豚肉？鶏肉？いよいよ「ウチダオリ〇ニ」です。元々、食用のために輸入され、最近ではその繁殖を抑えるために注目を集めるようになってきたとのこと。調理までの日数が限られる中、お肉の飼育を断念し、捕獲の道を選びました。環境NPOの方々の協力も得て、七月三十日、三十一日の二日間、裏磐梯にて二百匹近くをゲツトしてきました。

### お肉班

七月二十七日、全校生の「蕎麦プロジェクト」【種蒔き】の「会津のかおり」は、学校運営協議会委員・そば栽培中野生産組合代表の桑名秀一郎さんと福良地区の認定農業

### 野菜班

を書いています。東北最大の坐像がある東光寺中地大仏の説明を聞く1年生

### その他班

まずは火起こしから始めます

野菜を植えるための畑を探し求め、見つけたのが格技場脇のちよつとしたスペース。早速、七月三十日に畑を開墾し、八月六日にはじゃがいもと人参の種を植えました。

八月三十一日、湖南七浜の清掃活動を行いました。昭和四十八年から五十年近く続く活動で、観光客が湖畔を訪れるこの時期に毎年行っている。初めて参加した一年生の男子生徒は、「先輩達や先生方そして地域の方々と協力し合い、猪苗代湖をきれいにできて良かったです」と、また、

今回が最後の活動となる三年生の男子生徒は「一年生から三年生までの縦割り」班のみんなとコミュニケーションをとりながら楽しく作業ができました。これからは湖岸清掃が続いていくことを願っています」と感想を綴

ついでに、今年、約十年ぶりに湖南中学校と合同実施をする予定でしたが、荒天のため本校単独での活動となりました。コミュニティ・スクールである両校の生徒にとって、この活動が地域社会へ参画する貴重な場になっていいると思いを込めて、是非、来年度は、地域のために一緒に活動す

ることで、「湖南愛」をともに育んでいきたいものです。

【編集後記】夏休みに行われた体験入学では、今年度より一・二年生の受け入れを始めたこともあり、例年より参加者が増え、模擬授業に積極的に臨む中学生の姿が印象的でした。是非、来年度、本校の門をくぐってほしいと願っています。また、学校紹介や案内係を担当した在校生の活躍も目立ちました。アンケートの結果を見ても、好印象を抱いてもらったことがよく分かります。本校は「開かれた学校」です。開かれた学校の方はいつでもお訪ね下さい。(猪苗代子)